

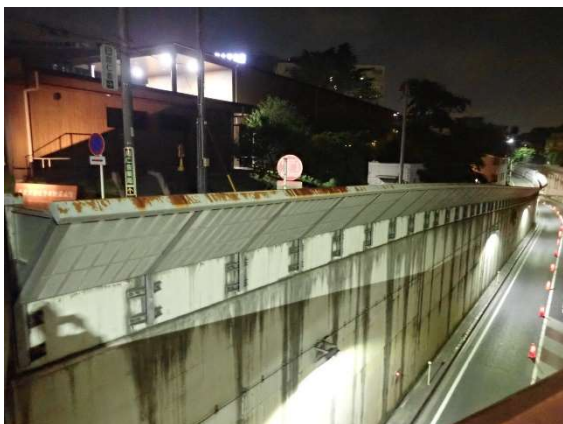
千葉市道路遮音壁維持管理計画



蘇我町線



中瀬幕張本郷線（幕張陸橋）



西千葉駅稻荷町線



新港穴川線

令和 3 年 3 月

目次

1	背景と目的	P1
2	対象施設	P2
3	計画期間	P6
4	対策の優先順位の考え方	P6
5	施設の状態等	P8
6	対策と実施時期	P10
7	計画による効果と対策費用	P14

1 背景と目的

本市では、公共施設等の老朽化に対応するため、「千葉市公共施設等総合管理計画（平成 27 年 5 月）」を策定しており、取り組みの推進にあたって、施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、「個別施設計画」を順次策定することとし、各施設の維持管理や改築更新等の実施方法などを示していくこととしています。

道路においては、個別施設計画の策定にあたり、総合的な維持管理方針として、「千葉市道路施設戦略的維持管理方針（平成 27 年 11 月）」（以下「維持管理方針」という。）を策定し、「道路交通の安全性・信頼性を将来にわたり確保し、良好な道路施設を次世代に継承する」という目指すべき方向性を決め、数ある道路施設を効率的かつ効果的に維持管理していくため、施設の特性に応じメリハリをつけた維持管理を行っていくことを決めました。

遮音壁は、壁状の施設により道路騒音を低減し、沿道環境の保全を目的に設置された施設です。本市においては、昭和 50 年代及び主要な幹線道路が整備された平成 10 年代に多く設置されており、今後段階的に更新時期を迎え、短期間に大きな財政負担が生じることが明らかとなっています。

このことを踏まえ、維持管理方針に基づき、計画更新型^{※1}施設として、「千葉市道路遮音壁維持管理計画」を策定し、計画的に更新を進め、道路交通の安全性、信頼性を確保するとともに維持管理費の平準化を図っていきます。

※1 定期点検の結果等により更新時期を設定し、更新を行うことを前提とした管理方法

2 対象施設

(1) 対象施設

本計画の対象は、市管理の遮音壁総延長 5.8km のうち、橋梁に設置された遮音壁を除く 3.6km とします（表 1）。なお、橋梁の遮音壁は、別途、橋梁長寿命化修繕計画に含みます。対象とする遮音壁の設置年度、延長、位置は図 1、図 2 のとおりです。

表 1 本市が管理する遮音壁一覧表

番号	路線名(橋梁名)	道路部 (km)	橋梁部 (km)
1	西千葉駅稲荷町線（矢作トンネル）	0.33	
2	蘇我町線・蘇我町98号線	0.75	
3	新港穴川線	1.28	
4	中瀬幕張本郷線（幕張陸橋）	0.40	0.09
5	中瀬幕張本郷線（浜田陸橋）	0.35	1.19
6	千葉船橋海浜線	0.26	
7	磯辺畑町線（花園陸橋(JR)）	0.06	
	磯辺畑町線（花園陸橋(京成)）		0.09
8	松波新港線（幸町1号橋）	0.06	0.12
9	千葉大網線（誉田跨線橋）	0.07	
	園生町99号線（園生台橋梁）		0.07
	天台46号線（千草橋）		0.06
	海浜公園稲丘町線（稲毛陸橋）		0.57
合計		3.56	2.19
総計			5.75

計画対象

また、擁壁やトンネルに設置された吸音パネル、目隠し板等は計画対象外としています。

遮音壁は昭和 50 年代および平成 10 年代に多くが設置されており、今後段階的に老朽化し、更新時期を迎えることが明らかとなっております（図 1）

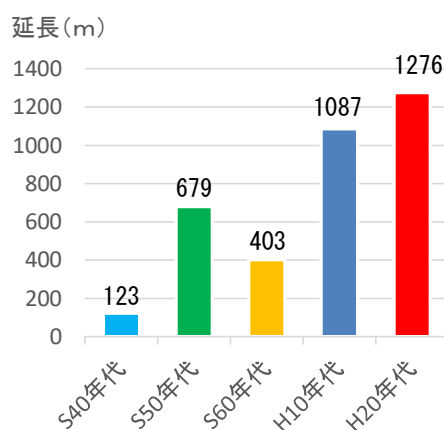


図 1 遮音壁（設置時期および延長）



図2 位置図

(2) 各対象施設概要

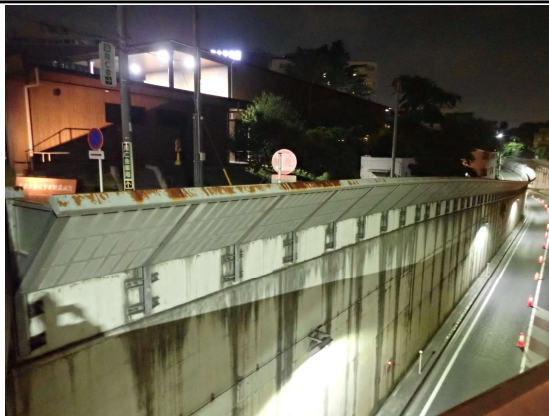


写真 1 西千葉駅稲荷町線
(矢作トンネル)



写真 2 蘇我町線



写真 3 新港穴川線



写真 4 中瀬幕張本郷線(幕張陸橋)



写真 5 中瀬幕張本郷線(浜田陸橋)



写真 6 千葉船橋海浜線



写真 7 磯辺畑町線（花園陸橋（JR））



写真 8 松波新港線（幸町 1 号橋）



写真 9 千葉大網線（誉田跨線橋）

3 計画期間【2020～2049 年度】

計画期間は、2020 年度を初年度として、対象施設の更新が 1 巡する 2049 年度までの 30 年間とします。また、計画の持続性と精度を高めるために 5 年に 1 度を目途に計画を更新します。

4 対策の優先順位の考え方

施設の状態を踏まえ、施設の耐用年数を基に「更新」することを基本とします。また、更新までの期間では点検結果に基づき部分的な「修繕」を実施することで効率的な維持管理に努めます。

遮音壁は比較的単純な構造であることから、施設を支柱と遮音パネルに大分し、耐用年数を基本に更新することとします。

なお、更新時には設置時との環境変化等を踏まえた必要性の検証を行い、撤去等についても検討します。

（１）耐用年数の考え方

支柱が 50 年間※²、遮音パネルは 25 年間※²で更新時期を設定しました。

※²「腐食した鋼構造物の耐久性照査マニュアル（土木学会 平成 21 年 3 月）」の暴露試験地域による耐用年数と本市の地域状況（都市・工業地帯と海岸地帯の代表地）から、支柱 50 年、遮音パネル 25 年を更新時期と設定。

（２）優先順位

① 経過年数による優先順位

施設の状態を踏まえ、設置年次の古いものを優先して更新します。

② 路線の重要度による優先順位

経過年数が同じ場合は、緊急輸送道路など路線の重要度を考慮します。

（３）点検結果に基づく更新時期の延伸

更新時期直近の点検にて、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（健全度Ⅱ）又は構造物の機能に支障が生じていない状態（健全度Ⅰ）の判定の施設は、次回点検まで更新時期を 5 年程度延伸します。

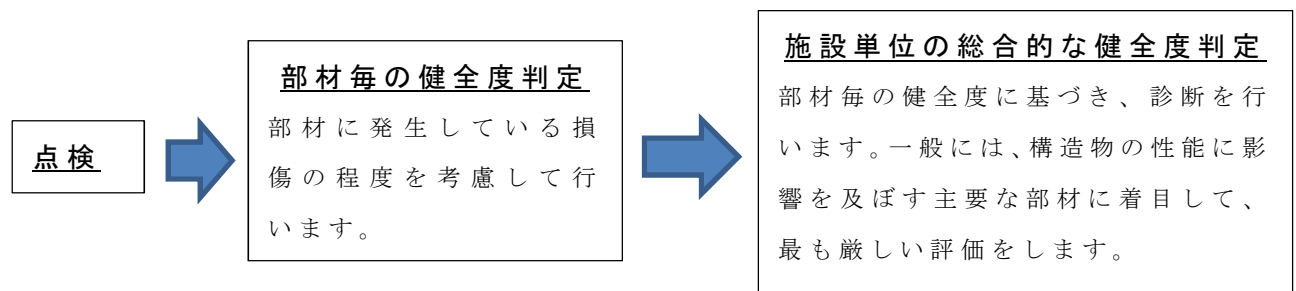
(4) 修繕の実施

定期点検の結果、部分的な損傷が確認された場合は必要に応じ、機能を回復するための「修繕」を行います。

更新時期の設定は、これまでの実績が無いため、点検結果や更新履歴を蓄積し、計画の更新に反映します。また、橋梁部は本計画対象外ですが、更新の際には一連で更新することが効率的なため、千葉市橋梁長寿命化修繕計画とも整合を図るよう努めます。

5 施設の状態等

施設の定期点検は、小規模附属物点検要領（H29.3 国土交通省道路局）および附属物（標識・照明施設等）点検要領（H31.3 国土交通省道路局）を準用し、2020 年に全ての施設を実施しました。健全度判定は、支柱や遮音パネル、落下防止ワイヤーなどの部材毎を判定した後、施設全体を総合的に判定します。（表 2）



（１）点検結果

施設全体の健全度判定結果は以下のとおりとなります。

対象 3.6km の点検を行い、健全度Ⅳ判定の施設は無く、Ⅲ判定の施設も全体の 6% のため、おおむね健全な状態が保たれていることがわかりました。（図 3）

健全度Ⅲ判定の施設は遮音壁設置後、約 40 年が経過した箇所で、遮音パネルや落下防止ワイヤーに発錆や腐食による破断が見られたため、次回の点検（5 年以内）までに修繕や更新を行い、健全性を確保します。

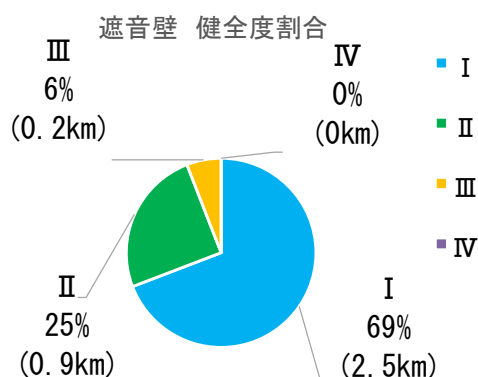


図 3 点検結果（施設全体）

表 2 施設全体の総合的な健全度判定区分表

区分		定義
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

出展：附属物（標識、照明施設等）点検要領（H31.3 国土交通省道路局）

(2) 損傷の特徴

- ・施設の主要部材は金属製のため、損傷の多くは腐食でした。
- ・外力(事故等)による損傷やボルトの緩みがみられる施設も確認されました。
- ・落下防止ワイヤーが腐食、破断している施設も確認されました。



写真 10 中瀬幕張本郷線（浜田陸橋）
経年劣化による腐食



写真 11 中瀬幕張本郷線（幕張陸橋）
ボルトの緩み

(3) 健全度Ⅲ判定事例



写真 12 中瀬幕張本郷線（幕張陸橋）
車両衝突による基部破損



写真 13 磯辺畑町線（花園陸橋（JR））
腐食による落下防止ワイヤーの破断



写真 14 磯辺畑町線（花園陸橋（JR））
遮音パネルの腐食



写真 15 千葉大網線（菅田跨線橋）
支柱の腐食

6 対策と実施時期

2020 年から初回点検を開始し、施設の状態の把握に努めます。定期点検の結果に基づき、更新や修繕を行います。

(1) 点検

道路パトロール等の日常点検のほか、5 年に 1 度、施設の状態を把握するための「定期点検」を実施します。

定期点検は 10 年に 1 度の近接目視による詳細点検と、それを補完する 5 年に 1 度の遠方目視による中間点検を実施、第 3 者被害の可能性、更新の要否を判断します。

1) 詳細点検：遮音壁に近接し、変状の有無、大きさを詳細に把握するための点検

2) 中間点検：地上から直接またはカメラ等を用いて目視し、外観から異常を発見するために実施する点検

(2) 対策の実施時期

定期点検の結果を踏まえ、耐用年数に応じた施設の「更新」を、平準化を図りながら実施します。なお、平準化を図るため、更新時期が集中した年次は、次回点検までの 5 年間に分散し実施します。

また、部分的に補修が必要な場合は「修繕」（支柱、遮音パネルの交換等）を実施します。

凡例	
□	：更新設計委託
●	：更新工事（遮音壁全体）
○	：維持補修工事（パネルの更新）
☆	：詳細点検（近接目視）
△	：中間点検（遠望目視）

表 3 対策実施計画（1）

管理番号	施設名	上下線	箇所 番号	設置年	延長 (m)	施設毎 判定 区分	更新計画									
							2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
CNB-01-001	西千葉駅稲荷町線 (矢作トンネル) 遮音壁	下り	①	1998年	60.1	I	☆					△		□	○	
CNB-01-002			②	1998年	110.0	II	☆					△		□	○	
CNB-01-003		上り	①	1998年	163.2	I	☆					△			□	○
CNB-02-001	蘇我町線・ 蘇我町98号線 遮音壁	下り	①	2004年	95.0	I	☆					△			□	○
CNB-02-002			②	2004年	55.0	I	☆					△			□	○
CNB-02-003			③	2004年	104.5	I	☆					△			□	○
CNB-02-004			④	2004年	85.7	I	☆					△			□	○
CNB-02-005			⑤	2004年	36.5	I	☆					△			□	○
CNB-02-006		上り	①	2004年	102.5	II	☆					△			□	○
CNB-02-007			②	2004年	45.0	I	☆					△			□	○
CNB-02-008			③	2004年	103.5	I	☆					△			□	○
CNB-02-009			④	2004年	96.0	I	☆					△			□	○
CNB-02-010			⑤	2004年	30.0	II	☆					△			□	○
BNB-01-001	新港穴川線 遮音壁	下り	①	2008年	82.0	I	☆					△				
BNB-01-002			②	2012年	65.3	I	☆					△				
BNB-01-003			③	2012年	193.5	I	☆					△				
BNB-01-004			④	2008年	42.2	I	☆					△				
BNB-01-005			⑤	2010年	32.0	I	☆					△				
BNB-01-006			⑥	2010年	30.5	I	☆					△				
BNB-01-007			⑦	2010年	52.2	I	☆					△				
BNB-01-008			⑧	2010年	21.5	I	☆					△				
BNB-01-009			⑨	2010年	120.0	I	☆					△				
BNB-01-010			⑩	2010年	61.0	I	☆					△				
BNB-01-011			⑪	2012年	61.7	I	☆					△				
BNB-01-012		上り	①	2008年	8.3	I	☆					△				
BNB-01-013			②	2008年	52.5	I	☆					△				
BNB-01-014			③	2012年	48.3	I	☆					△				
BNB-01-015			④	2012年	203.5	I	☆					△				
BNB-01-016			⑤	2008年	41.3	I	☆					△				
BNB-01-017			⑥	2010年	45.5	I	☆					△				
BNB-01-018			⑦	2010年	17.4	I	☆					△				
BNB-01-019			⑧	2010年	38.4	I	☆					△				
BNB-01-020			⑨	2010年	58.6	I	☆					△				
FNB-01-001	中瀬幕張本郷線 (幕張陸橋取付部) 遮音壁	下り	①	1989年	129.5	II	☆					△		□	○	
FNB-01-002			②	1989年	79.0	II	☆					△		□	○	
FNB-01-003		上り	①	1989年	115.5	II	☆					△		□	○	
FNB-01-004			②	1989年	79.5	III	☆		□	●		△				
FNB-02-001	中瀬幕張本郷線 (浜田陸橋取付部) 遮音壁	下り	①	1982年	113.0	I	☆					△		□	○	
FNB-02-002			②	1982年	69.0	I	☆					△		□	○	
FNB-02-003		上り	①	1982年	107.0	I	☆					△		□	○	
FNB-02-004			②	1982年	62.5	II	☆					△		□	○	
FNB-03-001	千葉船橋海浜線 遮音壁	下り	①	1977年	159.5	II	☆					△	□	●		
FNB-03-002			②	1977年	100.0	II	☆					△	□	●		
ANB-01-001	磯辺畑町線 (花園陸橋(JR)取付部) 遮音壁	上り	①	1971年	63.0	III	☆			□	●	△				
FNB-04-001	松波新港線 (幸町1号橋取付部) 遮音壁	下り	①	1973年	30.0	I	☆					△	□	●		
FNB-04-002		上り	①	1973年	30.0	I	☆					△	□	●		
ENB-21-001	千葉大網線 (菅田跨線橋取付部) 遮音壁	上り	①	1978年	68.0	III	☆	□	●			△				

※2025年以降の対策時期については、計画の更新時に検討します。

凡例	
□	：更新設計委託
●	：更新工事（遮音壁全体）
○	：維持補修工事（パネルの更新）
☆	：詳細点検（近接目視）
△	：中間点検（遠望目視）

表 3 対策実施計画（2）

管理番号	施設名	上下線	箇所 番号	設置年	延長 (m)	施設毎 判定 区分	更新計画									
							2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039
CNB-01-001	西千葉駅稲荷町線 (矢作トンネル) 遮音壁	下り	①	1998年	60.1	I	☆					△				
CNB-01-002			②	1998年	110.0	II	☆					△				
CNB-01-003		上り	①	1998年	163.2	I	☆					△				
CNB-02-001	蘇我町線・ 蘇我町98号線 遮音壁	下り	①	2004年	95.0	I	☆					△				
CNB-02-002			②	2004年	55.0	I	☆					△				
CNB-02-003			③	2004年	104.5	I	☆					△				
CNB-02-004			④	2004年	85.7	I	☆					△				
CNB-02-005			⑤	2004年	36.5	I	☆					△				
CNB-02-006		上り	①	2004年	102.5	II	☆					△				
CNB-02-007			②	2004年	45.0	I	☆					△				
CNB-02-008			③	2004年	103.5	I	☆					△				
CNB-02-009			④	2004年	96.0	I	☆					△				
CNB-02-010			⑤	2004年	30.0	II	☆					△				
BNB-01-001	新港穴川線 遮音壁	下り	①	2008年	82.0	I	☆			□	○	△				
BNB-01-002			②	2012年	65.3	I	☆					△	□	○		
BNB-01-003			③	2012年	193.5	I	☆					△	□	○		
BNB-01-004			④	2008年	42.2	I	☆			□	○	△				
BNB-01-005			⑤	2010年	32.0	I	☆					△	□	○		
BNB-01-006			⑥	2010年	30.5	I	☆					△	□	○		
BNB-01-007			⑦	2010年	52.2	I	☆					△	□	○		
BNB-01-008			⑧	2010年	21.5	I	☆					△	□	○		
BNB-01-009			⑨	2010年	120.0	I	☆					△		□	○	
BNB-01-010			⑩	2010年	61.0	I	☆					△		□	○	
BNB-01-011			⑪	2012年	61.7	I	☆					△		□	○	
BNB-01-012		上り	①	2008年	8.3	I	☆			□	○	△				
BNB-01-013			②	2008年	52.5	I	☆			□	○	△				
BNB-01-014			③	2012年	48.3	I	☆					△	□	○		
BNB-01-015			④	2012年	203.5	I	☆					△	□	○		
BNB-01-016			⑤	2008年	41.3	I	☆			□	○	△				
BNB-01-017			⑥	2010年	45.5	I	☆					△		□	○	
BNB-01-018			⑦	2010年	17.4	I	☆					△		□	○	
BNB-01-019			⑧	2010年	38.4	I	☆					△		□	○	
BNB-01-020			⑨	2010年	58.6	I	☆					△		□	○	
FNB-01-001	中瀬幕張本郷線 (幕張陸橋取付部) 遮音壁	下り	①	1989年	129.5	II	☆					△			□	●
FNB-01-002			②	1989年	79.0	II	☆					△			□	●
FNB-01-003		上り	①	1989年	115.5	II	☆					△			□	●
FNB-01-004			②	1989年	79.5	III	☆					△				
FNB-02-001	中瀬幕張本郷線 (浜田陸橋取付部) 遮音壁	下り	①	1982年	113.0	I	☆		□	●		△				
FNB-02-002			②	1982年	69.0	I	☆		□	●		△				
FNB-02-003		上り	①	1982年	107.0	I	☆	□	●			△				
FNB-02-004			②	1982年	62.5	II	☆	□	●			△				
FNB-03-001	千葉船橋海浜線 遮音壁	下り	①	1977年	159.5	II	☆					△				
FNB-03-002			②	1977年	100.0	II	☆					△				
ANB-01-001	磯辺畑町線 (花園陸橋(JR)取付部) 遮音壁	上り	①	1971年	63.0	III	☆					△				
FNB-04-001	松波新港線 (幸町1号橋取付部) 遮音壁	下り	①	1973年	30.0	I	☆					△				
FNB-04-002		上り	①	1973年	30.0	I	☆					△				
ENB-21-001	千葉大網線 (菅田跨線橋取付部) 遮音壁	上り	①	1978年	68.0	III	☆					△				

※2025年以降の対策時期については、計画の更新時に検討します。

凡例	
□	：更新設計委託
●	：更新工事（遮音壁全体）
○	：維持補修工事（パネルの更新）
☆	：詳細点検（近接目視）
△	：中間点検（遠望目視）

表 3 対策実施計画（3）

管理番号	施設名	上下線	箇所 番号	設置年	延長 (m)	施設毎 判定 区分	更新計画									
							2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049
CNB-01-001	西千葉駅稲荷町線 (矢作トンネル) 遮音壁	下り	①	1998年	60.1	I	☆					△			□	●
CNB-01-002			②	1998年	110.0	II	☆					△		□	●	
CNB-01-003		上り	①	1998年	163.2	I	☆					△			□	●
CNB-02-001	蘇我町線・ 蘇我町98号線 遮音壁	下り	①	2004年	95.0	I	☆					△				
CNB-02-002			②	2004年	55.0	I	☆					△				
CNB-02-003			③	2004年	104.5	I	☆					△				
CNB-02-004			④	2004年	85.7	I	☆					△				
CNB-02-005			⑤	2004年	36.5	I	☆					△				
CNB-02-006		上り	①	2004年	102.5	II	☆					△				
CNB-02-007			②	2004年	45.0	I	☆					△				
CNB-02-008			③	2004年	103.5	I	☆					△				
CNB-02-009			④	2004年	96.0	I	☆					△				
CNB-02-010			⑤	2004年	30.0	II	☆					△				
BNB-01-001	新港穴川線 遮音壁	下り	①	2008年	82.0	I	☆					△				
BNB-01-002			②	2012年	65.3	I	☆					△				
BNB-01-003			③	2012年	193.5	I	☆					△				
BNB-01-004			④	2008年	42.2	I	☆					△				
BNB-01-005			⑤	2010年	32.0	I	☆					△				
BNB-01-006			⑥	2010年	30.5	I	☆					△				
BNB-01-007			⑦	2010年	52.2	I	☆					△				
BNB-01-008			⑧	2010年	21.5	I	☆					△				
BNB-01-009			⑨	2010年	120.0	I	☆					△				
BNB-01-010			⑩	2010年	61.0	I	☆					△				
BNB-01-011			⑪	2012年	61.7	I	☆					△				
BNB-01-012		上り	①	2008年	8.3	I	☆					△				
BNB-01-013			②	2008年	52.5	I	☆					△				
BNB-01-014			③	2012年	48.3	I	☆					△				
BNB-01-015			④	2012年	203.5	I	☆					△				
BNB-01-016			⑤	2008年	41.3	I	☆					△				
BNB-01-017			⑥	2010年	45.5	I	☆					△				
BNB-01-018			⑦	2010年	17.4	I	☆					△				
BNB-01-019			⑧	2010年	38.4	I	☆					△				
BNB-01-020			⑨	2010年	58.6	I	☆					△				
FNB-01-001	中瀬幕張本郷線 (幕張陸橋取付部) 遮音壁	下り	①	1989年	129.5	II	☆					△				
FNB-01-002			②	1989年	79.0	II	☆					△				
FNB-01-003		上り	①	1989年	115.5	II	☆					△				
FNB-01-004			②	1989年	79.5	III	☆					△	□	○		
FNB-02-001	中瀬幕張本郷線 (浜田陸橋取付部) 遮音壁	下り	①	1982年	113.0	I	☆					△				
FNB-02-002			②	1982年	69.0	I	☆					△				
FNB-02-003		上り	①	1982年	107.0	I	☆					△				
FNB-02-004			②	1982年	62.5	II	☆					△				
FNB-03-001	千葉船橋海浜線 遮音壁	下り	①	1977年	159.5	II	☆					△				
FNB-03-002			②	1977年	100.0	II	☆					△				
ANB-01-001	磯辺畑町線 (花園陸橋(JR)取付部) 遮音壁	上り	①	1971年	63.0	III	☆					△	□	○		
FNB-04-001	松波新港線 (幸町1号橋取付部) 遮音壁	下り	①	1973年	30.0	I	☆					△				
FNB-04-002		上り	①	1973年	30.0	I	☆					△				
ENB-21-001	千葉大網線 (菅田跨線橋取付部) 遮音壁	上り	①	1978年	68.0	III	☆					△	□	○		

※2025年以降の対策時期については、計画の更新時に検討します。

7 計画による効果と対策費用

本計画は定期的な点検や予防的な対策を講じ、限られた財政の中で、安全・安心の確保、社会的損失の回避・抑制、維持管理コストの縮減および平準化を図ることを目的とします。

計画による効果として「事後保全した場合」と本計画に基づき、「予防保全した場合」の対策費用を以下の条件で試算しました。

(1) 事後保全した場合の費用

事後保全を継続した場合の対策費用を示します。

今後 30 年間の対策費用の累計は、4.9 億円となります。

試算条件① 事後保全した場合の事業費予測

- ・対象施設：遮音壁 3.6km
- ・試算期間：2020 年から 2049 年までの 30 年間
- ・耐用年数：50 年（遮音パネルは 25 年で更新）
- ・条件説明：耐用年数に応じて更新

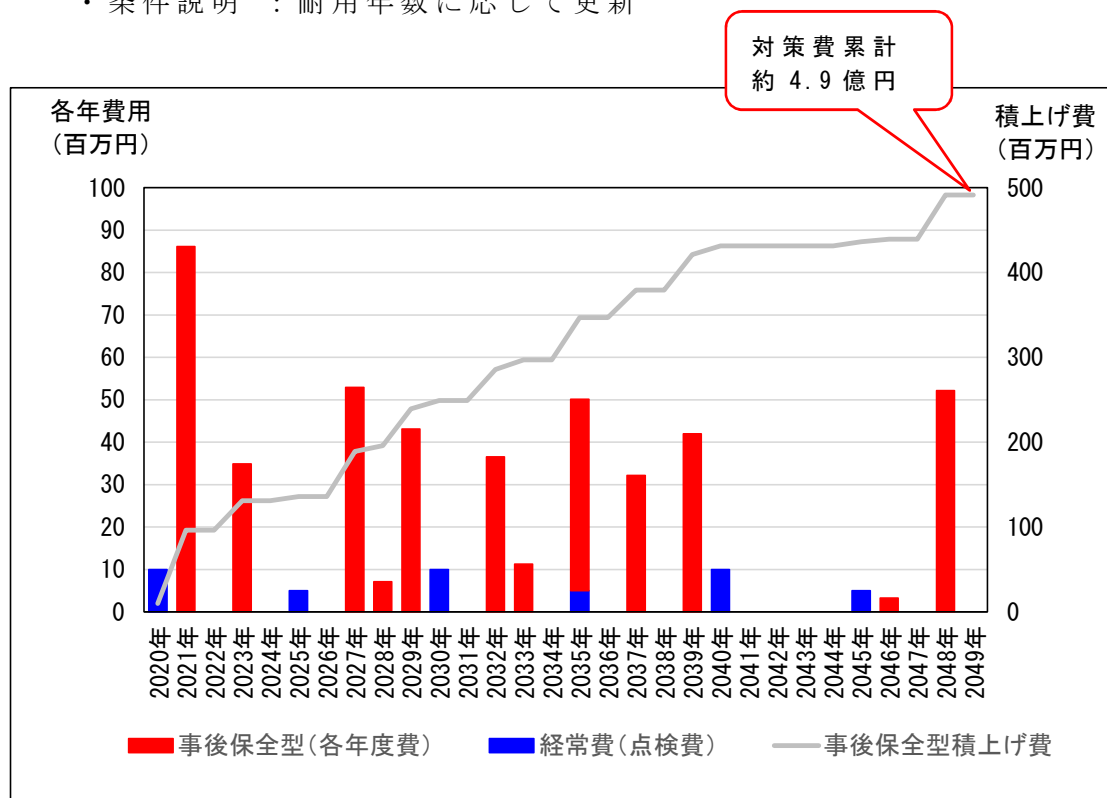


図 4 事後保全した場合の費用

※上記費用は、過去の実績から算出したものであるため、修繕・更新時には確認が必要

(2) 計画的に更新した場合

予防保全に転換した場合の対策費用を示します。

今後 30 年間の事業費の累計は、4.5 億円となります。

試算条件② 予防保全した場合の事業費予測

- ・対象施設 : 遮音壁 3.6km
- ・試算期間 : 2020 年から 2049 年までの 30 年間
- ・耐用年数 : 50 年 (遮音パネルは 25 年で更新)
- ・条件説明 : 施設の更新時期が集中した年度は次回点検までの 5 年間で平準化します。

更新時期直近の点検にて健全度Ⅰ及びⅡの判定の施設は、次回点検まで更新時期を 5 年程度延伸します。

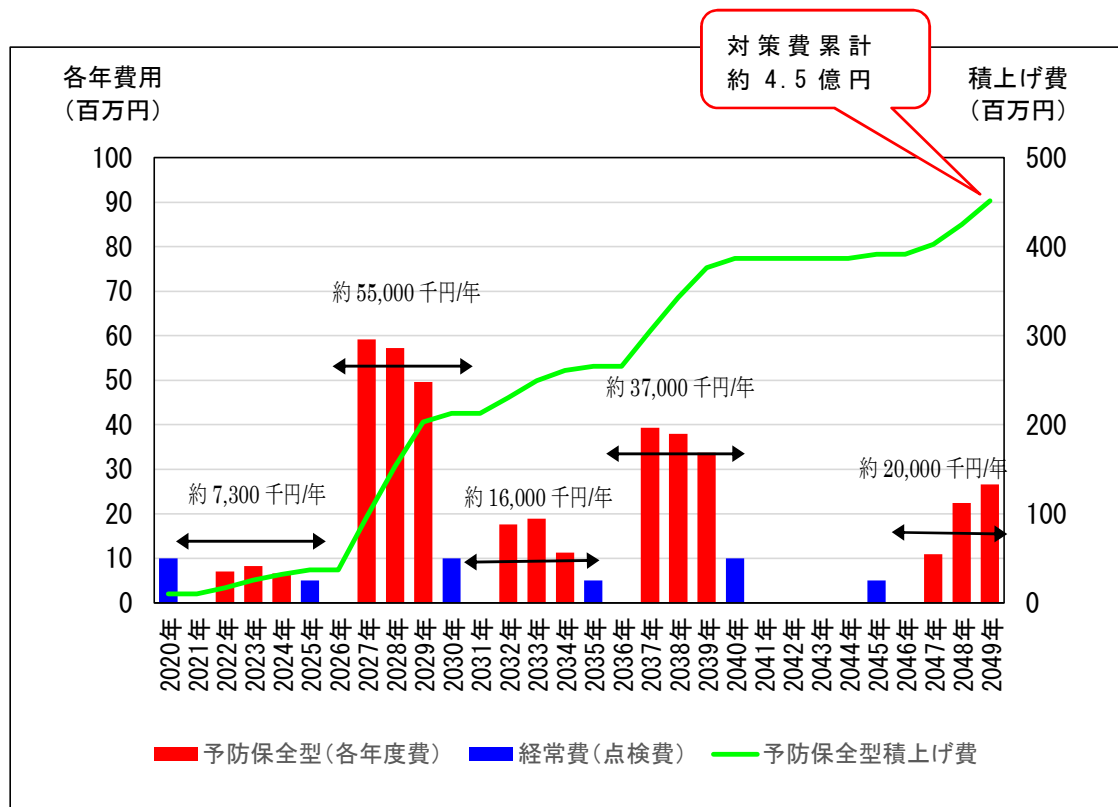


図 5 予防保全した場合の費用

※上記費用は、過去の実績から算出したものであるため、修繕・更新時には確認が必要

(3) 更新費用の平準化

本計画に基づき、適切な維持管理、更新を行うことで計画期間内（2020年～2049年度）の対策費用は約0.4億円の削減が可能となります。

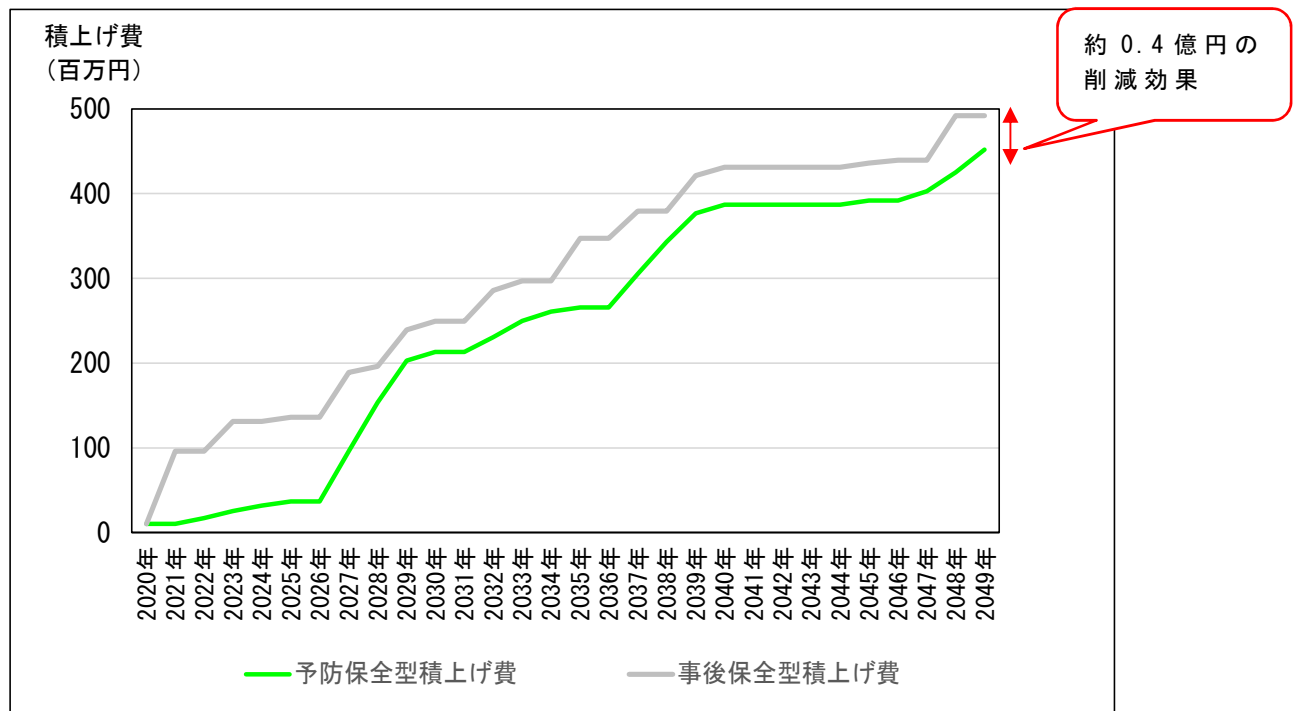


図6 計画策定による効果

※定期点検の結果から、施設の更新時期を5年間延期させることで、更なる対策費削減が可能となります。

千葉県道路遮音壁維持管理計画

発 行 令和 3 年 3 月

編 集 〒260-8722

千葉県中央区千葉港 1 番 1 号

千葉県建設局土木部土木保全課